

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

# 大阪奮闘共闘ニュース

No.27 2013年5月21日  
〒530-0034  
大阪市北区錦町2-2  
大阪労連気付  
TEL (06) 6353-6421

## 労働ビックバンを許すな！ 必要なのは安定した雇用！

大阪労連は格差と貧困をなくすために、毎月第三金曜日にディセントワークデーとして宣伝をとりくんできました。日本経済の再建には、賃上げと雇用の安定で消費購買力の拡大が必要です。しかし、安倍首相は、財界の意向をまる飲みし、「世界で一番企業が活動しやすい国づくり」のために、労働ビックバンと称し①解雇の「金銭解決」を認め、解雇を自由化する②ホワイトカラーの労働時間の規制緩和・弾力化をすすめる（残業不払い）③地域限定社員制度の導入で名ばかり正社会員の増大で、不安定雇用を拡大する など労働者に百害あて一利なしの



労働法制の大改悪を狙っています。日本経済を破滅に導く、労働ビックバンを許さないたたかいの強化が求められています。

5月17日に難波行った宣伝には、大阪自治労連、自交総連、JM IUなどからの参加を含め18人が元気よく宣伝。大阪労連から川辺和宏議長、菅事務局長、嘉満幹事。大阪自治労連の黒田婦人部書記長、自交総連の松下書記次長からも訴えが行われました。ビラの受け取りはよく、予定した時間を前に、用意したビラがなくなりました。受け取った労働者は弁士の訴えを聞きながらビラを広げて読んでいました。

ビラを読み込む労働者



東大阪労連は、17日の早朝、近鉄河内永和駅でディセントワーク宣伝を行い、「アベノミクスに欠け



ているのは賃金の引き上げ。必要なのは雇用の安定。労働ビックバンに反対していこう」と会社に向かう労働者に訴えました。行動には11人が参加し、終了を予定していた8時前に労働ビックバンチラシなくなりました。参加された仲間からは、「内容を知らない労働者がまだ多いので今後とも宣伝の強化を強めていきます。」と感想が寄せられています。また、岸和田労連も夕方6時から南海岸和田駅で宣伝を行いました。

## 押しつけられた安保条約を廃棄しよう！

41回目の沖縄復帰記念日となる5月15日に、安保破棄大阪実行委員会の呼びかけで大正区宣伝行動がおこなわれ、大阪労連からも参加しました。

「普天間基地は銃剣とブルドーザーで住民から強制的に取り上げられたもの。沖縄と同時に撤去すべきだった。押しつけられた安保条約を廃棄して、ただちに基地を撤去すべき」等と呼びかけ。また、橋下大阪市長が、「慰安婦制度は必要なのは誰だってわかる」と、従軍慰安婦そのものを正当化する暴言を吐き、米軍司令官に風俗の利用をすすめとんでもない暴言に対し、弁士から「この発言は女性だけでなく男性も貶めるもの、ただちに市長を辞任しろ」と訴えました。



変えよう職場・地域と政治、勝ちとろう賃金・雇用・くらしの改善